

## あと一議席で採択できた

「集团的自衛権の行使容認閣議決定撤回」請願

## 一議員が賛成に回り採択

「保険でよりよい歯科医療の実現を求める」請願

## 継続審査になり実質は廃案へ

「小学校全学年の少人数学級実現」請願

川西市議会 9月定例議会最終日

## 一議席の重み

を実感



### 集团的自衛権の行使

### 保険でより良い歯科を

### 少人数学級の実現

賛成議員	反対議員	賛成議員	反対議員	継続に賛成	採択に賛成
住田、北野 黒田、宮坂 北上、岡 津田、福西 土田、小山 多久和、 安田忠司	吉富、森本 秋田、大崎 鈴木、平岡 大矢根、江見 宮路、久保 梶田、 安田末廣	住田、北野 黒田、宮坂 北上、吉富、 岡、津田 福西、土田 小山、多久和 安田忠司	森本、秋田 大崎、鈴木 平岡、大矢根 江見、宮路 久保、梶田 安田末廣	吉富、岡 津田、福西 土田、森本 秋田、大崎 鈴木、平岡 大矢根、江見 宮路、久保 梶田、 安田末廣 小山、多久和 安田忠司	住田、北野 黒田、宮坂 北上、

\*議長(吉田)採決で不採択

\*任期満了に伴い継続審査は廃案を意味する

今議会ほど一議席の重みを感じた議会はなかったのではないのでしょうか。

「集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と立法手続きの中止を国に求める意見書をあげて下さい」など同趣旨請願が3団体から提出されました。

委員会では一議席差で不採択、本会議では

共産、民主、自治市民が賛成で12対12の同数になり、議長採決で、議長の吉田議員が不採択を選択したため不採択となりました。

「保険でより良い歯科医療の実現の意見書採択を求める請願書」は、無所属議員一人が賛成に回り、13対11で採択されました。一議席の移動で変わりました。(裏面に詳細)



よし

くらしの

「由さん」の 便り

2014年 9月 337号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

市民への情報は住田のブログへ。「住田由之輔」で検索

歯や口腔で悩んでおられる方がおられるのではないのでしょうか。特に治療したいけど、保険がきかないから治療費が高くできないとか、治療に時間がかかるのとか、悩みがあるのではないのでしょうか。歯科医療団体から請願が出され、日本共産党議員も紹介議員になり、力を尽くしたことにより、以下の要望を意見書として国へあげることになりました。もちろんこれだけで実現するわけではありませんが、全国の自治体から同趣旨の意見が多数国へあがれば、国も対応せざるを得なくなります。

賛成反対の議員は表面の表のとおりです。

## 保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

### 要望項目

- 1.患者の窓口負担を軽減すること。
- 2.良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること。
- 3.安全で普及している歯科技術を保険がきくようにすること。

共産党  
請願採択でも  
全力

### 小学校全学年の少人数学級

(35人以下)実現に向けて兵庫県への意見書提出を求める請願書

教育現場では学力向上へさまざまな取り組みをしている中、いじめや不登校問題など、長時間かかわっていかねばならぬ課題が増えています。

兵庫県では現在小学校4年生まで35人以下学級が実現しています。しかし5年生になれば当然難易度の高い学習が出てきますが、4年生までの35人以下が40人定員いっぱいになれば、一人一人の学力向上に目配りが難しくなります。

川西市内16小学校中8校で、5年生で多人数学級になります。合わせて、特別支援学級生徒を加えると42人のクラスになる小学校も出現します。きめ細かく指導するためにも少人数学級の重要性は実践済みです。そのような実態を訴えながら、川西の教職員組合から、少人数学級の実現を来年度から実施するようにと請願が上がっていました。保護者からも強い要望があります。

日本共産党3人と、自治市民クラブ2人は採択すべきとの立場に立ちましたが、ほかの議員は継続審査・実質的に廃案を選択されました。



「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」

「介護報酬の地域区分の見直しを求める意見書」

は全議員賛成でした。

日本共産党が提出した

「川西市家庭保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定についての修正案」

は、すべての児童に公平に、保育は学習を積んだ保育士が当たるよう求めたものですが、日本共産党以外は反対しました。

来週24日から平成25年度一般会計決算委員会、29日からは特別会計決算委員会があります。傍聴にお願いいたします。